

令和 2年度 事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 14 日

事務事業名		大和中央公民館各種講座事業					事業区分		担当		
							新規/継続	継続	事務事業No.	020201000613	
		政策体系上の位置付け					単独/補助	単独	所属課	090601	
政 策 体 系	総合計画の施策名	0202 生涯学習・芸術文化活動の推進							グループ	生涯学習課	
	政策名	02 生きがいを育む学びのまちづくり								課長名	
	施策名	02 生涯学習・芸術文化活動の推進								担当者名	
	手段名	01 ①自主的な活動の支援と学習機会の提供									
財務会計上の位置付け						事業期間					
予算科目	会計	款	項	目	事業細	一般会計					
						01	10	06	02	03	00
法令根拠		桜川市公民館管理規則									

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要												
手 段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)						②担当者が行う業務の内容・やり方・手順					
	<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の住民の学習、交流の場として実践活動を積極的に支援し、受講生一人一人が健康で楽しくしかも生きがいを持った人生をおくる拠点として公民館活動の充実を図る。 定期講座終了後、自主講座として独自に活動できる団体を育成することも目的としている。 <p>【手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月に講座生の募集受付。5月から3月にかけて講座実施。終了時に修了証の発行。 2月に担当者による打合せ、3月中旬に公民館だよりを発行各戸配布。 各講座は3年程度継続して実施し、それ以降は自主講座として引き続き活動していただく。 						<ul style="list-style-type: none"> 公民館定期講座4月上旬から中旬まで募集、受付 各講座、初回には各施設の行政専門員が出席、講座運営について説明等行う 文化祭実行委員会と連絡調整し、市民文化祭で展示、発表 各講座終了日に合わせて修了証を作成・交付する 次年度の新規講座の準備(11月下旬ごろから) 次年度の定期講座の募集の打ち合わせ(1月下旬~2月上旬) 講師との内容・日程調整、併せて公民館自主講座の年間日程調整 公民館だよりの編集、印刷、市内へ全戸配布(3月中旬) 					
(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移												
①手段 (担当者の活動内容)			④活動指標 (活動量を表す指標)			単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)	
公民館だよりによる定期講座の募集、実施 市民文化祭での展示、発表			定期講座募集人数			人	119.00	95.00	52.00	100.00	100.00	
			定期講座募集講座数			件	8.00	7.00	4.00	8.00	8.00	
							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
②対象 (誰、何を対象にしているのか)			⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)			単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)	
市民			人口			人	40,483.00	39,692.00	39,571.00	38,957.00	38,343.00	
							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)			⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)			単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)	
生涯学習や文化活動に積極的に参加し、知識・見分を深める			講座を開催した日数			日	73.00	56.00	40.00	80.00	80.00	
			講座に参加した人数			人	53.00	71.00	52.00	100.00	100.00	
						件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(3) 投入量(事業費)の推移						30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	期間限定 総投入量			
投 入 量	事 業 費	財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			0		
			県支出金	千円	0	0	0			0		
			地方債	千円	0	0	0			0		
			使用料・手数料	千円	0	0	0			0		
			その他	千円	0	0	0			0		
			一般財源	千円	470	470	398			0		
			事業費計(A)	千円	470	470	398			0		
	正規職員従事人数	人	1.00人	2.00人	2.00人							
01年度事業費 実績(千円)						02年度事業費 予算(千円)						
事 業 費 の 内 訳	08 報償費			470	08 報償費			398				
	合計			470	合計			398	398			

事務事業名	大和中央公民館各種講座事業	事務事業No.	20201000613	所属課	生涯学習課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 市民のニーズが多様になり、市民の生涯学習に対する活動意欲が増加している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 新講座の打ち上げの要望。					
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。					

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 生涯学習や文化活動を通して、知識や見聞を深めるのに結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民同士が講座を通して学びを広げる「きっかけ」の場を提供している。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 大和公民館は例年講座数が少なく、また講座終了後に自主講座に移行する団体も少ないため、検討していく必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民の生涯学習の場であり必要である。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 各公民館でそれぞれの事業を展開しているため出来ない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 各種講座開催に要する最小限の予算であり削減の余地はない。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民を対象としており公平・公正である。
公平性	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)																							
(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	大和中央公民館の講座数や受講生は他と比べ少ないため、なるべく人気の出そうな講座を開講するよう調整しているが、講師からの要望などにより、どうしても岩瀬、真壁が多くなってしまっている。																						
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 魅力的な講座を開講できるよう、引き続き検討していく。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上	○																					
	維持																						
	低下																						
(6) 事務事業優先度評価結果	①																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項	
(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>